

令和3年度 学校評価（保護者用）結果分析・考察

1 回収率（計 152/192名 回答率81.25%）

幼小学部	98.7%
中学部	71.4%
高等部	75.0%

2 課題及び今後の対応

(1) 評価結果の良かった項目（90%以上）について

・コロナ禍ではありましたが、質問項目;10/17項目 が「やや思う・とても思う」となった。
また、80%以上は17項目全て該当しており適正に進められていると判断できる。

- ①「子どもの目標の設定、指導の満足度、連絡帳や学級便りの周知度、よろこんで学校に行っている、子どもが学校・学部行事を楽しみにして積極的に参加している、通知票の工夫・適切な指導内容、子どもへの理解度、学校相談支援体制、進路指導、積極的な保護者との連携、健康増進に配慮した指導、安全・事故防止への配慮、校内美化・環境教育の計画的実施、PTA 活動の活発化」の項目に80～90%以上の高い評価が得られた。

(考察・対応)

○今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による不測な状況からの新年度スタートでしたが、前年度の経験を活かしつつ子ども達の学習保障と家庭支援、施設・学童等負担軽減を考慮しながら連携を深め取り組み、学校長の構想を踏まえ保護者及び PTA と連携し「通常登校」を進めることが出来ました。その成果と評価を踏まえ、次年度へ繋げていく必要があると分析します。

高い評価のある上記項目を踏まえ、コロナ禍においては、より保護者の理解、協力が必要でありその方法を一人一人の先生方の連携の工夫と保護者への周知力の向上が必要です。また、学校、家庭、施設等関係機関の役割を明確にすることで効果的な学校運営ができることも思慮されます。

しかし、その反面少数意見ですが「コロナ禍のため学校へ行けず子どもの様子が把握しづらかった」「コロナ禍ではあるが修学旅行等の行事の持ち方」などその方法、工夫を求める意見もありました。また、「無回答」意見が、項目によっては、約1%示された結果になっていました。

次年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を重視し、幼児児童生徒の健康の保持増進、個々の発達段階、状態を適切に把握できるよう保護者と連携し目標達成、個々の成長に繋がる細心な取り組みが必要であると考察いたします。

○具体的な対応として(良い点、メリットをより強化し厚みを増すことでデメリットまたはマイナス面を減らしていく)

①学校目標を踏まえ、個々の実態に合った目標の設定(教育課程を踏まえ個別の教育支援計画、個別の指導計画、年間指導計画の活用)の強化 →R4 年度は、研修計画を設定し対応していく。

②上記取り組みを踏まえ、個々の実態把握を教師間、保護者、必要に応じて関係機関と連携し進める。 →家庭訪問、授業参観日、行事、面談、PTA 活動を有機的な参加にしていこう →コロナ禍を考慮しマチコミメール、学校 HP、ICT 活用 web 会議、Teams 等。

③教育活動等の情報の共有 → 学校、家庭の協働意識を高め、連絡帳、お便り等を工夫し活用していくことで透明性を高め、コロナ禍の不測な状況に対応できるようにしていく。

→ 学校 HP、PTA 広報、学級通信及び学校便り等

④PTA 活動の推進 → 学校、保護者が協働で安心安全な環境の設定、情報共有の場としていく。

⑤学校、保護者がキャリア教育の視点、進路指導の充実に向けて対話することで個々の目標達成に繋げて行く → 各部署による茶話会、外部等研修案内、PTA 研修等を紹介。

(2) 評価結果の項目1と2(全く思わない・あまり思わない)の和が11%以上に達している項目について

・令和2年度から改善された項目

項目 12「保護者が授業参観する機会を適切に設けている」 12.0% → 8.33% (3.67%減)

項目 17「PTA 活動が活発である」 13.4% → 9.62% (3.78%減)

・今年度、項目1と2の和が11%以上

項目3「教育活動がおこなわれているかよくわかる」 (13.46%)

(考察・対応)

令和2年度は、項目3・12・17の3つであったが、今年度は「項目3」のみとなりました。

項目3は、「教育活動がおこなわれているかよくわかる」、令和2年度22.7%から13.46%と若干数値は減ったものの少数意見を謙虚に受け止め改善に努める必要があります。

原因として、やはりコロナ禍、感染防止対策に係る諸活動の延期、中止、規模を縮小した活動など、通常ではない対応の影響もあり、前年度同様、細かな連絡、その周知力の低さからだと思慮されます。更に「急な行事の変更に伴う早めの連絡ごほしい」「コロナ禍学校にいけなかったのどのように過ごしているか把握しづらかった」などの意見もあり、工夫改善が求められます。

具体的対応として、学校全体としての周知連絡の方法の強化 → 学校 HP、マチコミメール等の発信の工夫。

各学部、学級単位の工夫 → 必要な場合は、臨時的な学級たよりの発行。日々の連絡帳等を活用した情報提供の工夫改善に努める。

補足、個々の保護者が求める情報等を確認し、教師と保護者の意志疎通が可能な場を設定しつつ、両方で効果的な対応を引き出せる取り組みが必要と考えられる。学校と保護者が協働で進め、両者の適切な対応のための負担軽減も考慮した対話的な取り組みを推進していく事も大切だと思慮される。

(3) その他 ご意見、要望等と対応

【幼小学部】

- ・いつも子供達のためにありがとうございます。
- ・コロナ禍の中、感染予防や安全対策等、子供達のためにいつもありがとうございます。
- ・今年は校長がかわり、より一層教育について力が入っているのでありがたく思っています。
- ・茶話会などの場もすごくありがたく色々な方と話をする機会などありがたいです。すてきな企

画ありがとうございます。

・幼稚部の頃は茶話会があり、とてもありがたく思う面が多々あり、保護者同士が交流できて、時には励みになりました。小学部でも年に何回か茶話会があれば良いと思います。

➡ 保護者同士の連携を深めるための方法、場の設定を保護者、先生方と協働で進めて行けたらと考えております。是非、担任等へご相談下さい。

・6年次でいきなり宿泊も心配。かといって日帰りは子のためにならない。

➡ 子ども達の発達の段階を考慮しつつ自立し社会参加、社会貢献を目指しつつ個々の目標を明確にして学習計画を起していきます。子ども達の願い、保護者の願い等を共有する必要がありますので、今後ともご協力願います。

・学校行事がもう少し早く分かれると良いです。

➡ 急な行事変更に関しては、早めにご連絡するように致します。学校行事は年度初めに配布し、学校ホームページにも掲載致しますのでご活用下さい。

・反射をおこしたり、大声をあげている児童の動かし方(誘導の仕方)を研修していただきたい。

➡ 個々の実態に応じた専門性の向上に努めて参ります。

・先生によっては「それはちょっと・・・」というような、詳しく話しはせずに「申し訳ありません」と言う先生がおり、一線を越えてはいけませんが、学校側の状況も話してもらえた方がこちらも納得できるし、協力することもでき、又、先生との距離も縮まり、子供の事も色々と話ができるようになると思います。

➡ 保護者と先生が気軽に話し合える関係性、関わりが持てるように努めて参ります。子ども達の一人一人の成長に繋がる連携の在り方に今後ともご協力の程お願い致します。

【中学部】

・コロナ禍の中、工夫をして活動を行って下さりありがとうございます

・このコロナで大変な中でも子どもたちのためにありがとうございます。修学旅行、リスクは大きいとおもいますが、できないとあきらめるではなく、どうしたらできるかでやってもらいたい(やっていると思うのですが)と願っています。

➡ ご意見有り難うございます。コロナ禍ではありますが、個々の成長に繋がるよう今後も何が出来るか適切に対応して参ります。

・早くマスクが無意味である事に気づいて欲しいです。

➡ 子ども達の教育の保障、家庭、地域感染リスクの軽減のため県の示すガイドラインに沿って適切に対応して参ります。御理解と御協力をお願い致します。

・素晴らしい学校だと思えます。こちらへ通うことができ良かったといつも感謝しています。ありがとうございます。

・いつも子どもの様子を細かく連絡帳に記載してもらって安心して学校に送りだしています。

・思春期の苦しい時期を先生方には沢山支えていただき、アドバイスもとても助かりました。感

謝しています。ありがとうございます。

・今年度はコロナ感染拡大時期にもかかわらず学校判断で通常登校の体制を取っていただき、感謝しております。昨年度は分散登校だったため、子供の生活リズムが崩れてしまい、大変だったため、とてもありがたいです。

【高等部】

・コロナ状況に入ってから学校に行けなかった為、実際子どもたちがどのように過ごしているのか把握しづらい

➡授業参観の中止に伴いご迷惑をおかけしております。連絡帳、学級便り等を通してお知らせしますが個人的にも対応致しますのでご連絡ください。

・子どもが毎日喜んで学校に行っている姿を見て、先生方の指導や配慮が適切に行われているのだと思い日々感謝です。ありがとうございます。